

ぼくせい

令和3年度 富士市立吉永第一小学校
—学校教育目標— 7月号
「あかるく やさしく たくましく」

アイデアを出してあって

校長 市川 典秀

コロナの感染防止対策を行いながら、無事に3か月間の学校生活を送ることができました。ただし、6月に予定していた授業参観を中止にしなければならず、楽しみにしていた保護者の皆様には、大変申し訳ないことになってしまったと考えております。

学校では、そのような中でも、子供や職員がアイデアを出し合い、子供たちの「安全・安心」を第一に考え、教育活動を進めています。

コロナ発生以前は、4月に入学した一年生を学校に迎える「一年生を迎える会」を体育館で対面式で行って来ました。しかし、現在も体育館に一度に集合できる人数を一学年程度に制限しているため、本年度は全校で行うことができませんでした。

そこで、それぞれの学年が、このような状況でもできることを考えて、一年生のために行ってくれました。

2年生は、1年生と一緒に学校探検をしてクイズを行い学校のことを紹介してくれました。3年生は、折り紙でこまを作ってプレゼントしました。4年生は、ビオトープから替え歌のプレゼントを行いました。5年生は、人形の名札を作ってプレゼントしました。6年生は、風車を作ってプレゼントし、一緒に遊んでくれました。このようにいろいろな学年の活動で学校の仲間入りをした一年生は、お兄さん、お姉さんに向けたお礼をビデオメッセージにして、朝の時間に放送しました。6月22日に、学年の代表の子供が職員室から言葉を言ったあと、ビデオを流しました。とってもかわいらしく、見ていてもっと応援したくなりました。コロナ禍でできないことが多い中、子供や教師のアイデアで新しい流れができたように思います。

また、感染対策を行いながら、校外へ社会科見学にも出掛けました。

4年生は、県内の様子を学習するために、清水方面に出掛けました。300人乗りのフェリーを貸し切りにして、海の上から港の様子を見学しました。陸の上で見るより、倉庫やクレーンの様子がよく分かったと思います。

6年生は、歴史の学習で登呂遺跡、久能山東照宮に出掛けました。久能山のふもとから階段を上り、登りきったところでは、きれいな駿河湾を見ることができたそうです。静岡県にある歴史に関係するものに触れ、昔のことに興味を持ってもらえればと思います。

昨年行うことができなかった水泳の授業も、先月の学校だよりでお知らせしたようなことに気を付けながら実施しています。例年だと子供たちの歓声が響き渡るプールですが、今年は、大きな声を出すことを控えて行っています。学校では、みんなでアイデアを出し合い、できることを工夫しながら、学校生活を送っています。



2年学校探検



3年こまのプレゼント



5年カード作り



4年清水港



6年久能山

令和3年度 重点目標 とどけるあいさつ やさしいことば

本年度は、昇降口の開放時刻を7:45とさせていただきます。ほとんどのお子さんが、この時刻にあうように登校してくれています。しかし、20分以上前から昇降口の前で待っているお子さんも見受けられます。子供ですから、静かに待つこともできず、追いかけるように遊んでしまう子供もいます。それぞれの御家庭の御都合もあると思いますが、コロナ感染症拡大防止対応のためにも、昇降口の開放時刻にあった登校への御協力を重ねてお願いいたします。